

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
430001	XYY2430001			国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
				情報文化学部情報文化学科	×	×	×
地域情報システム	藤田 晴啓	2	後期	情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	専門	必修	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	専門	選択	2年
地域情報システム	藤田 晴啓			情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	専門	必修	3年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	専門	選択	3年
地域情報システム	藤田 晴啓			情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	専門	選択	3年

授業目的

地域情報システムとはその名のとおり、地域の情報を収集、整理、処理、出力するシステムの総称ではあるが、この授業では自治体があつかう情報システム、特に新潟市情報システムを基本に行政サービスに不可欠な業務システムを紹介する。人や土地に関する情報管理業務（住民基本台帳、戸籍、不動産登記、税務、道路、港湾、上下水道および統計）、先般導入運用が開始された社会保障・税番号制度との連携、国勢調査等についても、学習する。地理情報システム（GIS）による地域固有のデータおよび業務を先ず理解し、後半5回で地理情報システムの操作と地域統計データ表示実習を行う。

各回毎の授業内容

第1回

【授】講義ガイダンス・授業の目的と毎回授業の内容、成績評価方法
【前・後】以下のURLにて新潟市地理情報システムポータルをみておく
<http://gis.city.niigata.jp/webgis/portal/>

第2回

【授】新潟市の部局、業務と新潟市情報システムの変革
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第3回

【授】住民基本台帳、住民票、戸籍等の違い
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第4回

【授】社会保障・税番号制度による自治体システムと業務変革
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第5回

【授】新潟市情報システムの最適化（レポート課題1）
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第6回

【授】地域情報プラットフォームによる仕様の標準化
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第7回

【授】新潟市総合型地理情報システムと連携する各種業務およびシステム
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第8回

【授】新潟市総合型地理情報システムの最適化
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第9回

【授】地理情報システムGISの原理と応用
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第10回

【授】地域ビジネスと地理情報システム（レポート課題2）
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第11回

【授】GIS実習1: SuperMapViewverの導入説明、ファイルダウンロード、都道府県別統計データ表示
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第12回

【授】GIS実習2: 全国市町村データダウンロード表示、新潟県市町村別GDP等入力
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第13回

【授】GIS実習3: Excelデータのインポート、属性テーブルの結合、統計データのグラフ表示
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第14回

【授】GIS実習4: 独自調査した統計データ全国・新潟県内地図上表示し説明する（実習出力）
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第15回

【授】GIS実習5: 統計データから作成した属性テーブルの結合およびグラフ表示、講義のまとめ
【前・後】毎回授業では前回授業復習を行うが、各自復習しておく

第16回

【授】定期試験

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	25	25			10		60
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	10	10					20
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習		10			10		20
その他							

教科書参考書

参考書 GIS自習室 フリー版 SuperMapViewverを使い倒そう（渡邊 康志・古今書院）

受講に当たっての留意事項

私語厳禁、まわりに迷惑を与えるので、注意は1回までとする。2回目で退席を勧告。

授業中携帯端末使用は、即刻退席してもらいます。

GIS実習はPC教室使用。ただし、3教室で統合してもPCの数は最大126となり、履修生が126を超える場合は、GIS実習の是非を検討します（2015年後期は未実施）。

学習到達目標

- 自治体住民サービスの概要、システム連携を理解し、基本的知識を習得する（定期試験：25%）。
- 地理情報システムの内容と解析例および自治体業務サービスとしての役割を理解し説明できるようになる（定期試験：25%）。住民基本台帳に関する住民認証業務の内容とシステムを学び、それらが住民サービスにどのように役立つかを理解し説明できるようになる（定期試験：10%）。
- 自ら収集した特徴ある地域統計データを地図上に表示するGIS操作の習得（実習出力：10%）

JABEE

関連する学習・教育到達目標：H

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習